



かながわ露頭まっふ
 ～ヤビツ峠～
 小田原 啓
 (神奈川県温泉地学研究所)

■はじめに

神奈川県と聞くと、まずは横浜、湘南、三浦半島といった海をイメージされるかと思いますが。神奈川県イメージカラーは「かながわブルー」ですし、この観測だよりの裏表紙にも描かれていますように、カモメが県のシンボルマークとなっています。一方で、神奈川県は箱根や丹沢といった山も大変魅力的な県です。前回は江の島を紹介しましたので、今回は東丹沢の秘境ともいえるヤビツ峠周辺の景色や露頭を紹介したいと思います。

■ヤビツ峠周辺へのアクセス

ヤビツ峠は、秦野市街から宮ヶ瀬湖に抜ける県道 70 号線の途中に位置します。小田急線秦野駅からヤビツ峠行きの路線バス（神奈中バス）が出ていますが、平日は 2 本、土日とも 5 本程度と本数が少ないため、自家用車で行くことをお勧めします。しかしながら県道 70 号線は道幅が狭いため、走行には十分な注意が必要です。一般道にもかかわらずサイクリングのヒルクライムの聖地ともなっているようで、曲がりくねった峠道を猛スピードで下ってく

る自転車にも気を付ける必要があります。また、今回の調査を実施した 2021 年 2 月現在、県道 70 号線の札掛橋から旧金沢キャンプ場までの区間は、令和元年台風第 19 号の土砂災害により通行止めとなっており、ヤビツ峠から宮ヶ瀬湖まで通り抜けることはできませんでした。冬季は路面凍結することもありますので、事前にインターネット等で情報を収集してから出かけることをおすすめします。

■菜の花台

場所：秦野市寺山（地点 1）
 北緯 35 度 24 分 36.1 秒
 東経 139 度 12 分 30.9 秒
 秦野市街から県道 70 号線をヤビツ峠に向かって上っていくと、途中に菜の花台という見晴らしの良い展望台があります（写真 1）。ここからは秦野盆地や大磯丘陵、天気の良い日は箱根、伊豆半島の大室山、伊豆大島などを一望することができます

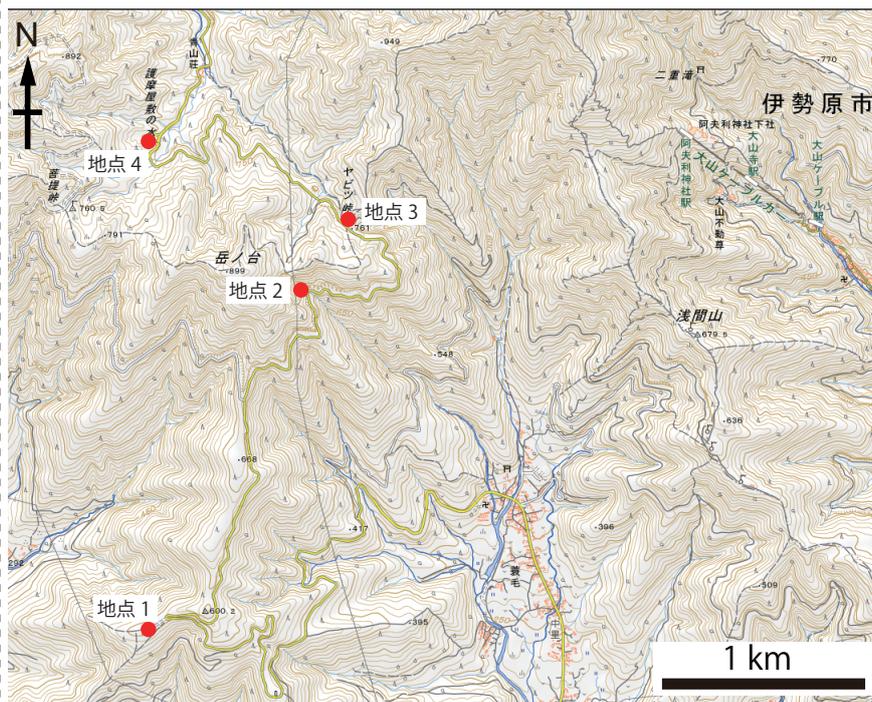


図 1 ヤビツ峠付近の地図。地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) に加筆。

(写真2)。秦野盆地と大磯丘陵の境目を見てみると、東西方向に走る渋沢断層によって形成された断層崖となっています。秦野盆地は地下に厚く礫層が堆積しており、その中に地下水が豊富に蓄えられた水がめのようなになっています。これは渋沢断層によって相対的に大磯丘陵側が隆起し秦野盆地側が沈降していることとも関係があります。神奈川県(1999)によると、渋沢断層は長さ約6km、活動度はA級～B級(千年あたり0.7-1.5m)、最新活動時期は約1万年以前以降に活動した可能性があると考えられています。また、平均活動間隔は不明ですが、近くに存在する国府津―松田断層の活動に付随して渋沢断層も活動する可能性があると考えられています。

■岳ノ台南東の露頭

場所：秦野市寺山(地点2)

北緯 35 度 25 分 30.1 秒

東経 139 度 13 分 2.3 秒

ヤビツ峠に向かう県道70号線沿いの斜面は、大部分がコンクリートが吹き付けられていますが、ところどころに露頭を見つけることが出来



写真1 菜の花台

ます。地点2の岳ノ台南方には金目川に続く沢があり、大規模な露頭がみられます(写真3)。ここには丹沢層群大山亜層群の緑色に変質した火山角礫凝灰岩(写真4)や粗粒砂岩(写真5)が露出しています。神奈川県立生命の星・地球博物館編(2016)の地質図によると、秦野市街から宮ヶ瀬湖の間までの県道70号線沿いに露出する地層はほとんどが丹沢層群大山亜層群となります。これらの岩石は約1600万～1300

万年前のまだ丹沢山地が本州に衝突する前、はるか南方に位置したフィリピン海プレート上の火山島であったところに、火山の噴出物が堆積して出来たものです。丹沢山地はフィリピン海プレートに押されて現在も隆起を続けており、美しい山並みを形成しています。

■ヤビツ峠

場所：秦野市寺山(地点3)

北緯 35 度 25 分 40.4 秒



写真2 菜の花台からの景色。矢印のところに渋沢断層が位置する。



写真3 岳ノ台南東の露頭



写真4 大山亜層群の凝灰角礫岩



写真5 大山亜層群の粗粒砂岩

東経 139 度 13 分 9.8 秒

ヤビツ峠という名前の由来は、戦国時代に武田氏と北条氏が合戦を行った際に使用したとされる矢を入れる箱（矢櫃・やびつ）が、現在のヤビツ峠の西方にある旧ヤビツ峠から見つかったことから名付けられたという伝承がありますが定かではありません。ヤビツ峠は表丹沢の登山口のひとつとなっており、ここから大山や岳ノ台へ登ることが出来ま

す。ヤビツ峠には駐車場（写真6）がありますが台数が限られているため観光シーズンはすぐに満車になってしまいます。公衆トイレも設置されており、山の情報が掲示された掲示板とともに、登山届（登山カード）を入れる箱が設置されています（写真7）。丹沢山地は多くの方がハイキングなどで楽しんでいます、思いのほか急峻な山ですので、登山する場合には必ず登山届を出してから

にしましょう。

■護摩屋敷の水

場所：秦野市寺山（地点4）

北緯 35 度 25 分 53.4 秒

東経 139 度 12 分 32.9 秒

ヤビツ峠からさらに北に進むと、護摩屋敷の水という湧水があります。護摩屋敷とは山伏が木を焚いて修行する場所のことをいい、昔修行に訪れた僧がこの水で身を清めたと



写真6 ヤビツ峠



写真7 ヤビツ峠公衆トイレと登山届箱

いうことから護摩屋敷の水という名前が付いたと言われています。秦野市の湧水群は環境省が実施した名水100選にも選ばれていることから、普段から多くの人たちが水を汲みにきており、調査した日もペットボトルや水タンクに沢山の水を入れて持ち帰っていました(写真8、9)。この水を温泉地学研究所で分析した結果を表1に示します。カルシウムが11.63mg/L、マグネシウムが3.71mg/Lですので、硬度は44.29mg/Lとなり、軟水ということになります。なおこの分析結果は、飲用地下水としての分析を行っているものではありません。湧水の成分は天候や季節によって変動しますので、あくまでも参考値としてのものです。細菌などの影響もあるかもしれませんが、湧水の周囲に設置されている看板などをよく確認し、利用にあたっては煮沸するなど注意が必要です。

■おわりに

2020年初頭から世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響により神奈川県内にも何度か緊急事



写真8 護摩屋敷の水

態宣言が出され、不要不急の外出自粛を余儀なくされました。2021年3月現在においてワクチン接種も始まりましたが、いまだ脅威は収まる気配を見せていません。しかしながら家に閉じこもり過ぎるのも体調面や精神面でまた問題となっています。マスクをしたりアルコール消毒を適切に行うなどの感染症対策を施した上でこのことですが、比較的三密になりにくい野外散策は、体調管理や気分転換を図る良い方法かもしれません。かながわ露頭マップが季

節の動植物などとともに大地が造る風景や、地層・岩石などを観察して楽しんでいただく手助けになればと思っています。

■参考文献

- 神奈川県(1999) 秦野断層・渋沢断層に関する調査成果報告書(概要版), 20p.
- 神奈川県立生命の星・地球博物館編(2016) かながわの自然図鑑1 新版 岩石・鉱物・地層, 有隣堂, 50-51.

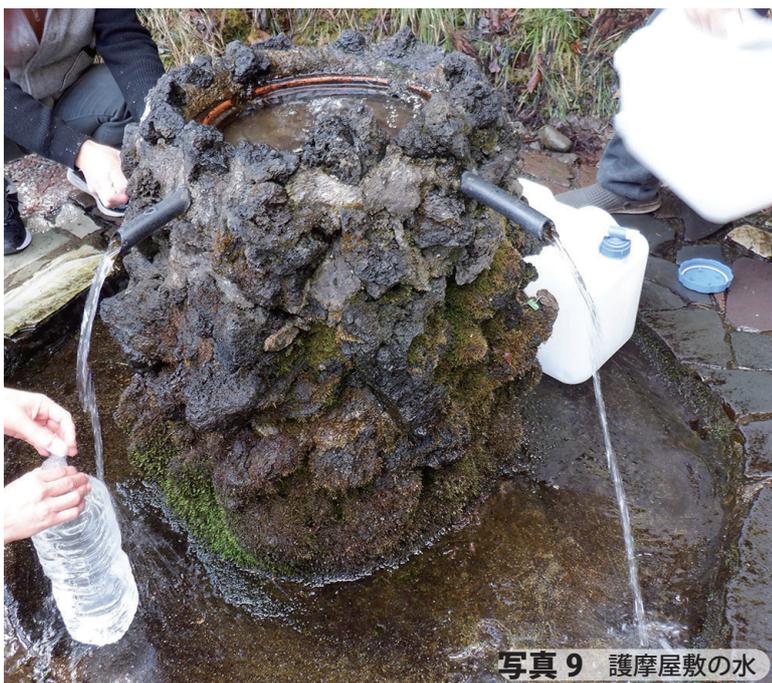


写真9 護摩屋敷の水

表1 護摩屋敷の水の分析結果

測定項目	
pH	6.23
電気伝導度(EC)	96.2 μ S/cm
H ₂ SiO ₃	24.9 mg/L
HBO ₂	0.1 mg/L
Li	0 mg/L
NH ₄	0.03 mg/L
Na	3.32 mg/L
K	1.2 mg/L
Mg	3.71 mg/L
Ca	11.63 mg/L
F	0.04 mg/L
Cl	2 mg/L
Br	0 mg/L
NO ₃	3.65 mg/L
SO ₄	1.88 mg/L
HCO ₃	75.24 mg/L
陽イオン	1.06 meq/L
陰イオン	1.39 meq/L
Total	128 mg/L